

☆☆☆日本家族心理学会第 36 回大会のお知らせ☆☆☆

日本家族心理学会第 36 回大会を下記の要項にて開催する運びとなりましたのでお知らせいたします。お繰り合わせの上、奮ってご参加をお願いいたします。大会準備委員一同、皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

記

会 期	2019 年 9 月 21 日 (土)・22 日 (日)・23 日 (祝・月)	
会 場	9 月 21 日 (土)・22 日 (日)	岩手大学 学生センター A 棟・B 棟・C 棟
	9 月 23 日 (祝・月)	岩手県民情報交流センター アイーナ
主 管 校	国立大学法人 岩手大学	
大会テーマ	「家族・スピリチュアリティ・美」	
プログラム	2019 年 9 月 21 日 (土)	研究発表 (口頭・ポスター) 自主企画シンポジウム
	9 月 22 日 (日)	学会企画シンポジウム・大会特別講演 大会準備委員会企画シンポジウム 懇親会：ホテルメトロポリタン盛岡
	9 月 23 日 (祝・月)	ワークショップ 10 種

大会特別講演「身心変容の科学とスピリチュアリティーチベット仏教の視点から」

講 演 者	永澤 哲 先生 (アティ・ゾクチョン研究所 所長)
ご 経 歴	宗教学者 (チベット仏教)、脳科学者。東京大学法学部卒。フランスの構造主義やポスト構造主義を専攻された後、インドに渡る。その後、瞑想修行とチベット仏教の研究に携わる。京都文教大学准教授を経て現職。
ご 主 著	『身心変容の科学』『身心変容のワザ』『野生のブッダ』『野生の哲学』『瞑想する脳科学』他著作多数。

特別対談

対 談 者	永澤 哲 先生 (アティ・ゾクチョン研究所)
	長谷川 啓三 (東北大学名誉教授)
	若島 孔文 (東北大学大学院)
司 会	奥野 雅子 (岩手大学)

準備委員会企画シンポジウム

テ ー マ	「臨床の美とスピリチュアリティ」		
司 会	佐藤 宏平 (山形大学)		
話題提供	伊藤 拓 (明治学院大学)	「ソリューションの美」	
	高橋 恵子 (みやぎ県南中核病院)	「緩和ケアにおける家族とスピリチュアリティ」	
	黒澤 奈々子 (茨城県立こども病院)	「周産期医療をめぐる家族の苦難と美談」	
指定討論	亀口 憲治 (国際医療福祉大学大学院)		

学会企画シンポジウム

テーマ 「家庭内で起こるバイオレンス」

司 会	花田 里欧子	(東京女子大学)	
話題提供	布柴 靖枝	(文教大学)	「Sexual and Gender Based Violence」
	大塚 斉	(武蔵野児童学園)	「児童虐待が生じた家族と子どもへの支援」
	川崎 二三彦	(子どもの虹情報研修センター)	「児童虐待が生じる家族の理解」
指定討論	野末 武義	(明治学院大学)	

ワークショップ

1. 「アタッチメント理論を基盤とした親子・夫婦カウンセリング」
北島 歩美 (日本女子大学カウンセリングセンター)
2. 「児童虐待と家族支援」
田附 あえか (筑波大学)・大塚 斉 (武蔵野児童学園)
3. 「発達障害と家族支援」
三谷 聖也 (東北福祉大学)
4. 「日本におけるコペアレンティング研究の意義と展望」(仮題)
加藤 道代 (東北大学)・神谷 哲司 (東北大学) (予定)
5. 「カップル・セラピー入門：結婚前から子育て期までを中心に」
野末 武義 (明治学院大学)
6. 「短期療法の実践」
若島 孔文 (東北大学大学院)
7. 「多世代家族の臨床と研究」
生田 倫子 (神奈川県立保健福祉大学)
8. 「アディクション支援からみた家族療法」
石井 宏祐 (佐賀大学)・石井 佳世 (熊本県立大学)
9. 「高齢者介護と家族支援」
小野寺 敦志 (国際医療福祉大学)
10. 「宗教者と心理臨床家との対話：スピリチュアルケアを考える」
竹中 了祥 (浄土真宗僧侶)・奥野 雅子 (岩手大学)

今後の予定

大会案内 (2号通信) 発行
2019年5月上旬

大会参加等受付開始
2019年5月中旬

以上

<日本家族心理学会第36回大会 事務局>
岩手大学人文社会科学部 発達・臨床心理学研究室内
〒020-8550 岩手県盛岡市上田3丁目 18-34 FAX 019-621-6793
大会準備委員長 奥野 雅子 (岩手大学)
事務局長 平泉 拓 (東北福祉大学)
E-mail : jafp.36th.annualmeeting@gmail.com